iiyama

LS902U G

取扱説明書

【保証書付】

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

もくじ

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして下さい。
ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- ■ モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- ■ 電源コードは付属のものを使用すること。

ENERGY STAR®

当社はENERGY STAR® プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR® プログラムの基準に適合していると判断します。

国外での使用禁止

本製品は、日本国内専用に製造、販売されています。日本国外ではご使用できません。
This monitor is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.

- ■ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- ■ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- ■ 本書に記載した会社名，商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ■ 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。
- ■ 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

愛情点検　長年ご使用のディスプレイモニタの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

- ●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- ●キャビネットが異常に熱い。
- ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- ●使用中に異常な音や振動などがある。
- ●その他の異常や故障がある。

⇒

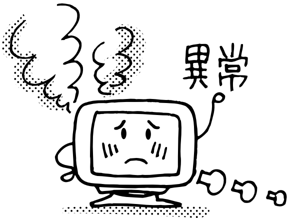
ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

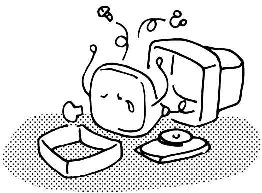
⚠ 警告



プラグを抜く

万一、異常が発生したら

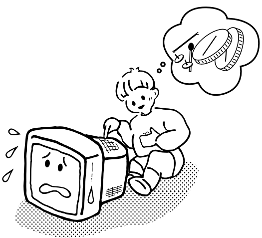
煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店またはイーヤマサービスセンターにご依頼ください。

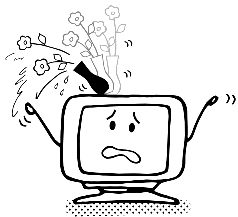


禁止

プラグを抜く

異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。



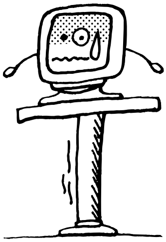
禁止

プラグを抜く

花びんやコップをモニタの上に置かない

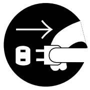
水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの上に置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。
万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 警告





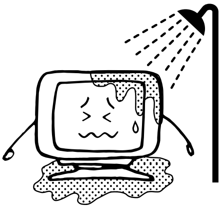
禁止



プラグを
抜く

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。
万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

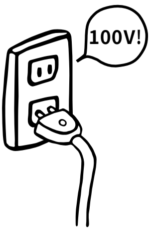




水場での
使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で

交流100Vの電源電圧でお使いください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

付属の電源コードを使用する

これ以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。





禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。
コードが傷んだらすぐに販売店またはイーヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。



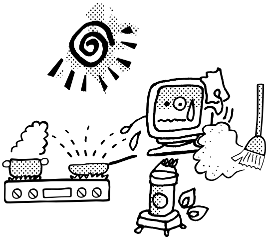


接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠ 注意

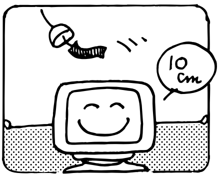


禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

× 湿気やほこりの多い場所
× 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
× 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
× 熱器具の近く
× 温度変化の激しい場所



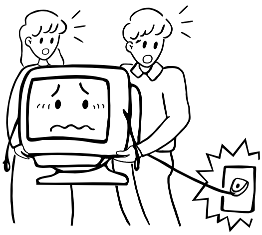
禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

× あお向けや横倒し、逆さまにする。
× 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
× じゅうたんや布団の上に置く。
× テーブルクロスなどをかける。

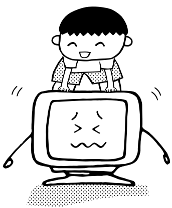
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



禁止

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

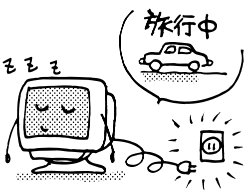
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。
また、モニタは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。



禁止

モニタの上に重いものをのせない、乗らない

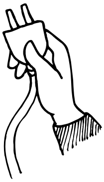
バランスがくずれて倒れたり、落ちたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。

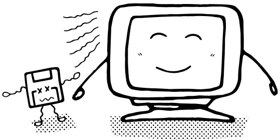




接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

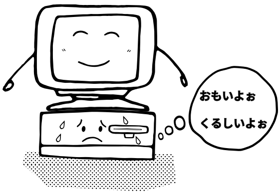




禁止

モニタの近くにフロッピーディスクを置かない

モニタは一時的に強い磁気を発生するため、フロッピーディスクなど磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。



コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすくて疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

磁気の影響

磁石を近づけたり、テレビやスピーカーなど磁気を発生させるものの近くに設置しないでください。色が乱れたり、画面揺れやノイズが出る原因となることがあります。

1. ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

◆ **Windows® やMacintosh に適したシャープな画面**

◆ **最大解像度1600×1200をサポート**

◆ **1280×1024時、最大リフレッシュレート85Hzをサポート**

◆ **プラグ&プレイ VESA DDC1/2B対応**
Windows® 95/98/2000/Me/XP対応

◆ **低電磁波・省電力設計**
MPR II 準拠
パワーマネージメント機能搭載

◆ **場所をとらないコンパクト設計**

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

● 電源コード*
● スタンド
● 取扱説明書/保証書（本書）
● ユーザー登録のご案内

補足　＊ 必ず付属の電源コードを使用してください。これ以外のものを使用した場合、サポート及び保証の対象外となります。

Windows 95/98/2000/Me/XPをお使いの方へ

■ 本製品のモニタインフォメーションファイルは、弊社ホームページにてダウンロードサービスを行っておりますのでご利用ください。

ホームページアドレス　　http://www.iiyama.co.jp

補足　■ ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。
■ MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカ等にお問い合わせください。

スタンドの取り付け

本製品はスタンドを取り付けて使用することを目的に設計されています。必ずスタンドを取り付けてご使用ください。

⚠注意

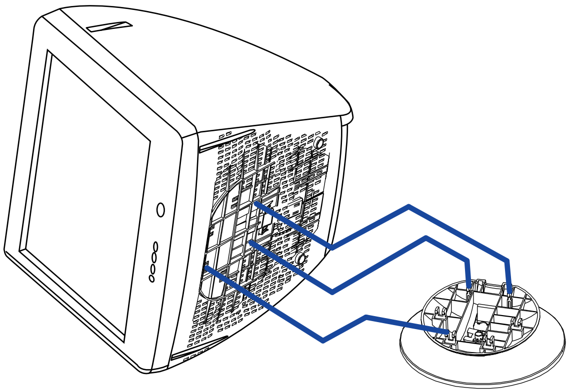
- **スタンドの取り付けは安定した台の上で行ってください。モニタが落下してけがや故障の原因となります。**
- **モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。**
- **取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。**

① モニタの電源が「OFF」であることを確認する。

② やわらかい布等の上にモニタを上下逆さま、または側面を下にし、モニタ前面が手前にくるようにして静かに置く。

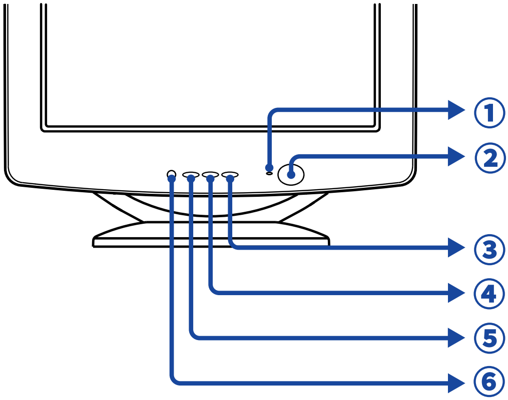
③ モニタ底面のスロットにスタンドのタブを6ヶ所合わせて差し込み、スタンドをモニタ前方向にカチッと音がするまで滑り込ませて固定する。

④ スタンドを取り外すには、スタンド底部を持ち、モニタ底面の突起部を指で押しながらスタンドをモニタ後方向にスライドさせる。



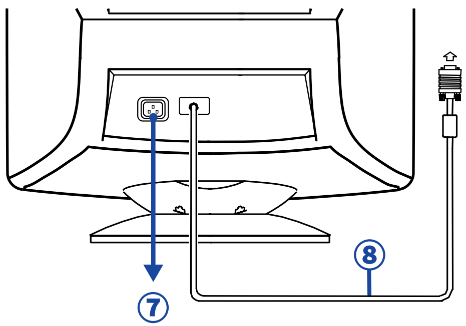
各部のなまえ

前面



① 電源インジケータ
② 電源スイッチ
③ MENUボタン
④ コントラスト調整/プラスボタン
⑤ ブライトネス調整/マイナスボタン
⑥ EXITボタン

後面



⑦ 電源コード接続コネクタ(AC IN)
⑧ D-SUB信号ケーブル(直付け)

コンピュータとの接続

⚠注意 ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。
■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。

② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。（P.17「信号入力コネクタのピン配列」参照）

補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

③ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。

ケーブル，アダプタ等の品名を青色で記載しています。

接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続	
AT互換機（DOS/V） IBM	D-SUB ミニ15ピン	D-SUB信号ケーブル （直付け）	
NEC PC98*1			
NEC PC98*1	D-SUB 15ピン	変換アダプタPC98 パーツNo.242Z020-01	D-SUB信号ケーブル （直付け）
Macintosh*2	D-SUB 15ピン	変換アダプタMAC*3 パーツNo.T985V003-30	D-SUB信号ケーブル （直付け）

補足 ＊1 PC98シリーズでは水平周波数24.8kHz(640×400)は表示できません。ただしPC9821MATE以降のシリーズは、水平周波数を切り替えることができます。コンピュータ電源投入時に“GRPH”+“2”キーを押し、水平周波数31.5kHz(640×400)でご使用ください。水平周波数24.8kHzに戻す場合は、コンピュータ電源投入時に“GRPH”+“1”キーを押してください。この機能がないコンピュータもありますので、前もってコンピュータの説明書をご確認ください。

＊2 Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

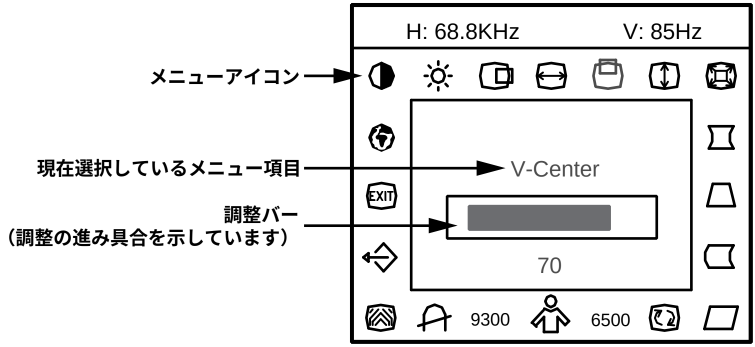
＊3 Power MacintoshなどのDPI-on-the-fly機能に対応したコンピュータの他、従来のMacintoshでも各種の解像度に切り替えることができます。

2. 操作手順

P. 17の「プリセットモード」の信号タイミングに合わせ、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、お好みの画面状態に調整し直したいときは、次の手順に従って操作を行ってください。

① MENUボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。

② 例えば、V-Center(垂直ポジション)を調整したいとき、メニューアイコン をプラス/マイナスボタンで選択し、MENUボタンを押します。



③ 選択したアイコン、メニュー項目、調整バーの色が赤色に変わります。プラス/マイナスボタンでお好みの画面に調整してください。詳しくは、次ページ「調整メニューの内容」をご覧ください。

④ 調整を終了する場合はMENUボタンを押し、オンスクリーン表示を消してください。オンスクリーン表示が消えると調整内容が記憶されます。

⑤ 続けて他の調整を行う場合は、①〜④の手順を繰り返し行ってください。

補足
- ■ 調整中にボタン操作を中止すると、10秒後にオンスクリーン表示が消えます。また、EXITボタンを押すと即時にオンスクリーン表示を消すことができます。
- ■ オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
- ■ 画面サイズ、位置、歪、モアレの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。したがってコントラスト、ブライトネス、カラー、傾き補正などの調整を行うと、全ての信号タイミングに対して調整内容が変更されます。

調整メニューの内容

* モニタ前面のコントラスト調整ボタン/ブライトネス調整ボタンでダイレクト調整ができます。

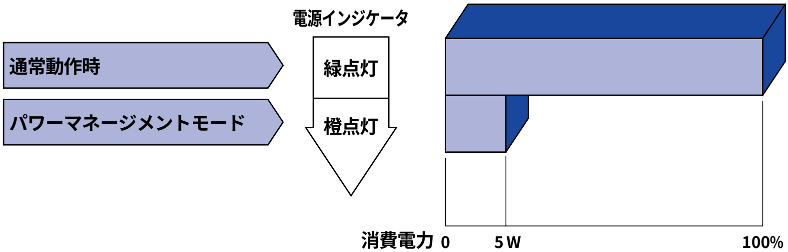
メニュー	画面の状態／調整ボタン	
Contrast* (コントラスト調整)	弱すぎる	+
	強すぎる	−
Brightness* (ブライトネス調整)	暗すぎる	+
	明るすぎる	−
H-Center (水平ポジション調整)	左によっている	+
	右によっている	−
H-Size (水平サイズ調整)	小さすぎる	+
	大きすぎる	−
V-Center (垂直ポジション調整)	下によっている	+
	上によっている	−
V-Size (垂直サイズ調整)	小さすぎる	+
	大きすぎる	−
Zoom (水平/垂直サイズ同時調整)	小さすぎる	+
	大きすぎる	−
Pincushion (糸巻歪調整)	糸巻形状歪	+
	タル形状歪	−
Trapezoid (台形歪調整)	台形状歪	+ / −
Pin Balance (弓形歪調整)	弓形状歪	+ / −
Parallelogram (平行四辺形歪調整)	平行四辺形状歪	+ / −
Rotation (傾き補正)	表示画面が傾いている	+ / −

メニュー	画面の状態／調整ボタン
Color Temperature (カラー選択) 単位はK（ケルビン） — 6500	6500K：やや赤みがかったホワイト
Color Temperature — 9300	9300K：標準ホワイト
	MENU **補足** 6500Kまたは9300Kを選択すると、User Colorで調整された色は無効になります。
User Color (ユーザーカラー調整)	Red/Blue + / − ⇒ MENU ⇒ + / −
Degauss (マニュアル消磁)	電源を入れると自動的に消磁されますが、その後通電状態で回転させたり、置き場所を移動させたりすると画面に色むらが生じることがあります。この様な場合に、消磁を行ってください。 MENU **補足** 消磁は連続して行うことはできません。一度消磁をした後は、30分以上の間隔をおいて行ってください。消磁作動中は画面が大きく揺れ、カチッと音がしますが、故障ではありません。
Moire Reduce (モアレ補正)	H-Moire Reduce (水平モアレ補正) + / V-Moire Reduce (垂直モアレ補正) − **補足** Moire Disableを選択するとモアレ補正量をOFFにすることができます。再度モアレ補正を行うときは、H/V-Moireを選択し、MENUボタンを押してください。モアレ補正を記憶させるためには、EXITを選択し、MENUボタンを押してください。
Recall (リセット)	工場出荷設定に戻します MENU **補足** このリセット操作を行うと、工場プリセットモードに対して調整したデータが消去され、工場出荷設定に戻ります。ただし、色、モアレのデータはリセットされません。
Exit (終了)	オンスクリーン表示を閉じます MENU **補足** EXITボタンを押しても同じです。
Language (言語選択)	Eng Deu Fra Esp Ita Por + / −

パワーマネージメント機能

本製品のパワーマネージメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネージメントモード
コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネージメントモード（消費電力 5W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は約10秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



補足

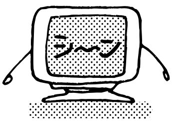
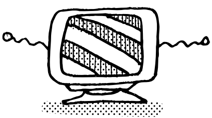
■ パワーマネージメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。

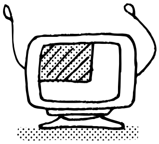
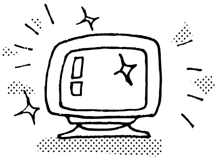
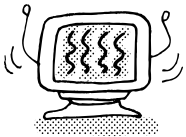
■ 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネージメント機能が正常に動作しない場合があります。

3. 故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「2. 操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は下記2.へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。

症状	チェックポイント
① 映像が出ない （インジケータ点灯せず）	□ 電源コードが確実に接続されていますか？ □ 電源スイッチが「ON」されていますか？ □ 電源コンセントに電気がきていますか？　別の機器で確認してください。
（インジケータ緑色）  	□ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。 □ コントラスト及びブライトネスが最小になっていませんか？ □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
（インジケータ橙色）	□ パワーマネージメント状態ではありませんか?マウスやキーボードを触ってみてください。 □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
② 画面が乱れている 	□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ □ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

症状	チェックポイント
③ 画面の位置が片寄っている 	□ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
④ 画面が明るすぎる/暗すぎる 	□ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？ コンピュータの映像出力レベルの違いにより、画面が明るくなる場合があります。この場合には、適度の明るさとなる様にコントラストを調整してください。
⑤ 画面が揺れる 	□ テレビやスピーカーなど磁気を発生させるものがモニタの周囲にありませんか？ また、近くに高圧線や電車が通っていませんか？モニタの向きや設置場所を変えてみてください。 □ 電源電圧は正常ですか？タコ足配線はやめてください。 □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ □ モアレ補正量が多すぎませんか？

補足 コンピュータの電源が入っていなかったり、信号ケーブルが接続されていない状態でモニタの電源を入れると、画面にカラーバーや単色のテストパターンが表示されます。

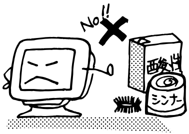
4．クリーニング

⚠警告　■ 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

⚠注意　■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足　■ ブラウン管表面には反射や静電気を抑えるための特殊コーティングを施してありますので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ キャビネットやブラウン管を痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- シンナー
- ベンジン
- 研磨剤
- スプレークリーナー
- ワックス
- 酸性、アルカリ性の溶剤

キャビネット　柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

ブラウン管　表面に指紋等汚れがついた場合は、清浄な極細繊維布で拭いてください。

5．アフターサービス

保証書／保証期間について

■ 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。

■ 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証期限は本体お買い上げ日より3年間です。ただし、中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。
　また、CRTの保証期限は1年間です。ただし、1年の保証期間内であっても輝度の低下・焼き付き・フォーカスの劣化・コンバージェンスの劣化等による経年劣化の場合は、保証の対象になりません。

修理サービス

■「3. 故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターへご連絡ください。

■ 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なお、この事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイーヤマサービスセンターまでご連絡ください。

■ 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

オプション部品

■ オプション部品をご注文の際にはP. 8の表に記載されている品名とパーツNo.で、販売店にご注文ください。

リサイクル／廃棄について

■ 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

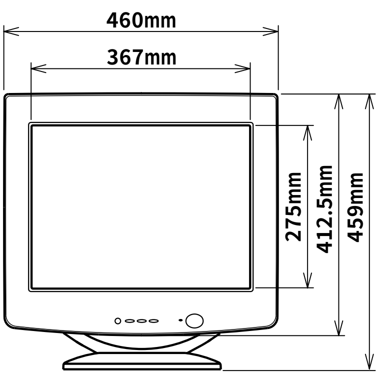
■ リサイクル/廃棄については、イーヤマ販売へお問い合わせください。

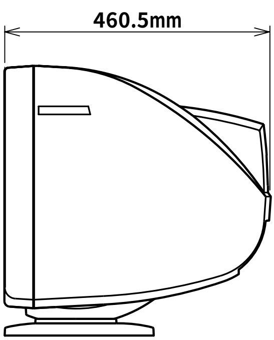
6. 付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様

ブラウン管	19″（表示領域 18.0″／45.7cm） ドットピッチ 0.26mm(水平 0.22mm，垂直 0.13mm) フラットスクエア，偏向角90°，短残光，帯電防止ノングレア処理
走査周波数	水平：30.0〜96.0kHz　垂直：50〜160Hz
映像帯域	200MHzドットクロック
推奨解像度	1280×1024 @85Hz
信号入力コネクタ	D-SUBミニ15ピンコネクタ
プラグ＆プレイ機能	VESA DDC1/2B™対応
入力同期信号	セパレート同期：TTL，正極性／負極性
入力映像信号	アナログ：0.7Vp-p(標準)，75Ω，正極性
画面情報メモリー数	プリセット：8種，ユーザー設定：最大20種
標準表示範囲	水平：346mm　垂直：260mm
入力電源 消費電力	AC100V　50／60Hz 130W(最大) パワーマネージメントモード時：5W(最大)
外形寸法，重量	460（幅）×459（高）×460.5（奥行）mm，18kg(スタンド含む)
角度調節範囲	左右各90°　上方向10°　下方向5°
環境条件	動作時：温度 0〜35℃　湿度 10〜80%（結露なきこと） 保管時：温度 −20〜60℃　湿度 5〜90%（結露なきこと）
適合規格	VCCIクラスB





プリセットモード

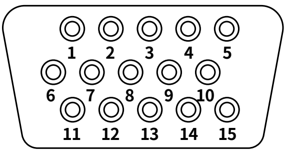
本製品は下表の信号タイミングに対応した画面情報がプリセットしてあります。

ビデオモード	解像度	水平周波数	垂直周波数	同期信号極性	
				水平	垂直
IBM	720×400	31.33kHz	70.0Hz	負	正
VGA	640×480	31.47kHz	59.9Hz	負	負
VESA	640×480	43.27kHz	85.0Hz	負	負
	800×600	53.67kHz	85.1Hz	正	正
	1024×768	68.68kHz	85.0Hz	正	正
	1280×960	85.94kHz	85.0Hz	正	正
	1280×1024	91.15kHz	85.0Hz	正	正
	1600×1200	93.75kHz	75.0Hz	正	正

補足 信号タイミングは、各社のグラフィックボードやコンピュータにより多少異なりますので、画面サイズ、位置などの微調整が必要です。

信号入力コネクタのピン配列

D-SUBミニ15ピンコネクタ



D-SUB

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤ビデオ	9	
2	緑ビデオ	10	接地
3	青ビデオ	11	接地
4	接地	12	データライン(SDA)*
5	接地	13	水平同期
6	赤ビデオ接地	14	垂直同期／垂直クロック*
7	緑ビデオ接地	15	クロックライン(SCL)*
8	青ビデオ接地		

*VESA DDC 規格に準拠

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイーヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。
   尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
   (1) 保証書をご提示されないとき。
   (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
   (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異，公害や異常電圧による故障または損害。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
   (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。